

大正3年(1914年)、

御幸村(川崎市)とその周辺村民ら500余名は、たび重なる洪水による被害に耐えかね、
アミガサをかぶって神奈川県庁に押し寄せ、多摩川の早期築堤を訴えました。
このアミガサ事件を契機として、

大正7年(1918)、国直轄の多摩川改修事業が始まり、

平成30年で多摩川改修100年を迎えます。



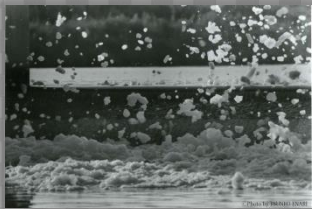
1907大洪水(川崎区)



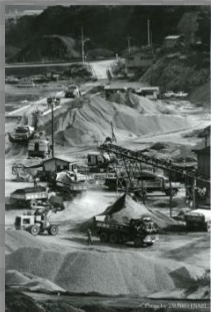
写真でみる郷土のうつりかわり(風景編)



多摩川改修工事平面図



1971巨大な泡の固まり (Photo by TSUNEO ENARI)



1971砂利採取の山 (Photo by TSUNEO ENARI)



1974狛江洪水



1918▶2018▶▶

人々の想いが集い、大きな流れとなりました。

これからも、多摩川。

100年行事予定

- 多摩川改修100年パネルリレー
(平成30年7月23日(月)~平成31年2月21日(木)開催予定)
- 多摩川改修100年を振り返るエクスカッションツアー
 - 【第1弾】アミガサ事件を巡るツアー (平成30年9月16日(日)開催)
 - 【第2弾】砂利鉄道の歴史を巡るツアー (平成30年11月10日(土)開催)
 - 【第3弾】河口域を巡る船上ツアー (平成31年1月19日(土)開催)
- 合唱コンクール・パネルディスカッション“多摩川を歌う”
(平成31年3月2日(土)開催予定)



▼HP
(多摩川改修100年ページ)

▼Facebook

